

平成21年度当初予算（一般会計）における主要事業概要

『人と自然がやさしくとけあい、 未来に輝くふるさと猪名川』

町総合計画の基本構想・後期基本計画に基づいて実施する施策及び事業のうち、平成21年度の新規・拡充事業などの主な概要は、次のとおりです。

誰もが生き生きと安心して暮らすことができる健康福祉のまちづくり
- 健康・福祉の向上 -

人や文化とふれあいながら、自分らしく生きる心と体を育む教育文化のまちづくり
- 教育・文化の振興 -

豊かな自然と共生する、魅力ある都市環境を築くまちづくり
- 都市基盤の整備 -

質の高い生活を実現する、安全で快適なまちづくり
- 生活環境の充実 -

都市近郊の地域資源を活かし、交流に支えられた産業のまちづくり
- 産業の振興 -

まちづくりの実現に向けて

誰もが生き生きと安心して暮らすことができる

健康福祉のまちづくり

- 健康・福祉の向上 -

一人ひとりがお互いを認め合い、思いやりの心をもって、お互いを支え、助け合おうという精神のもと、住み慣れた地域の中で、人としての尊厳を保ちながら、自分らしくそれぞれの健康と幸せを追求できる社会づくりに取り組みます。

猪名川町地域福祉計画策定（新規）

200万円

【担当：生活部 福祉課】

社会福祉法第107条（市町村地域福祉計画の策定）に基づき、本町の地域特性を踏まえた「地域福祉の推進に関する事項」を一体的に定め、今後の地域福祉を総合的に推進するため、猪名川町地域福祉計画の策定を行います。

障害者相談支援事業（継続）

1,844万5千円

【担当：生活部 福祉課】

障害者（児）やその保護者、介護者からのあらゆる相談に応じ、必要な情報の提供や権利擁護のための援助を行うことにより、自立した日常生活、社会生活の向上を図ることを目的として相談支援センターを設置しています。また、障害者就労支援センターでは、障害者の就労に係る相談、援助、実習訓練、啓発等を行うことにより、一人でも多くの障害者が就労の場や機会を得られるよう努めます。

社会福祉協議会への補助（継続）

5,260万5千円

【担当：生活部 福祉課】

総合福祉センターを拠点として、高齢者や障害者に対する一体的、総合的な福祉サービスの提供に努めるため、その事業主体となる猪名川町社会福祉協議会に対して引き続き助成を行い、本町における地域福祉の推進役として一層の機能強化を図るための支援を行います。（社会福祉協議会では、在宅福祉サービス事業、福祉教育推進事業、ボランティア活動事業、介護保険の訪問介護事業、通所介護事業、認知症対応型共同生活介護事業、居宅介護事業、地域包括支援センター事業、認知症高齢者の支援として高齢者やすらぎ支援事業などを実施しています。）

人生80年いきいき住宅助成事業（継続）**200万円****【担当：生活部 健康課】**

住み慣れた地域で暮らすことを望む高齢者や障害のある人が、家庭で安心して健やかに生活が送れることを目的に、引き続き一定要件の住宅改修に伴う費用の一部を助成し、在宅介護の支援に努めます。

人生80年いきいき住宅助成事業の対象

種類	対象者
一般型	・60歳以上の高齢者のいる世帯で特別型の対象とならない人
特別型	・介護保険申請者で、要支援以上の認定を受けた人 ・身体障害者手帳の交付を受けた人 ・療育手帳の交付を受けた人
増改築型	・一般型及び特別型の対象者

敬老祝金（継続）**439万8千円****【担当：生活部 健康課】**

敬老祝金の推移

(単位：人、千円)

77歳(1万円)、88歳(2万円)、100歳以上(3万円)の敬老祝金を引き続き支給し、福祉の増進に努めます。

年 度	支給を受けた方	支給総額
平成19年度実績	265	3,400
平成20年度見込	292	3,830
平成21年度予算	323	4,330

緊急通報システム運営事業（継続）**173万7千円****【担当：生活部 健康課】**

一人暮らし高齢者(65歳以上)及び身体障害者の緊急時の不安解消や安全確保などを目的とする緊急通報システム事業の運営を引き続き行います。

心身障害者(児)福祉金（継続）**1,308万6千円****【担当：生活部 福祉課】**

障害者(児)福祉金を支給することにより、経済的負担の軽減を図り、障害者福祉の向上に努めます。

心身障害者(児)支援事業（継続）**1億1,636万4千円****【担当：生活部 福祉課】**

障害者自立支援法の抜本的な見直しに伴う緊急措置を盛り込むとともに、創意工夫を図りながら地域生活支援事業の充実を図り、利用者本位のサービスの提供に努めます。

障害程度区分認定審査会（継続）

51万5千円

【担当：生活部 福祉課】

障害者自立支援法に基づく、障害福祉サービスの支給決定手続の透明化・公平化を図る観点から、中立・公正で専門的な立場からなる認定審査会を開催し、透明・公平な障害程度区分認定に努めます。

小規模通所授産施設事業（継続）

3,168万5千円

【担当：生活部 福祉課】

「希望の家“すばる”」では、就労プログラムと自立生活プログラムを考慮した個別支援計画を作成し、利用者一人ひとりの適性に合わせた訓練に努めます。また、障害者就労支援センター等と連携しながら、就労に向けた訓練等を積極的に行います。



地域生活支援事業（継続）

2,268万5千円

【担当：生活部 福祉課】

地域活動支援センターでは、利用者がいきいきと地域生活がおくれるよう、利用者自身の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じたサービス提供を行います。

乳幼児等医療費助成事業（継続）

6,712万3千円

【担当：生活部 福祉課】

県の制度改正（7月）に伴い、一部負担金を外来700円から800円に引き上げるものの、「通院は小学校就学前まで」、「入院は小学校6年生まで」それぞれ一部負担の無料化、所得制限の廃止を継続し、子育て支援の充実を図ります。

母子福祉金（継続）

168万4千円

【担当：生活部 福祉課】

母子家庭を対象に母子福祉金を支給することにより、経済的負担の軽減を図り、母子福祉の向上に努めます。

子育て支援対策事業（継続）

1,054万3千円

【担当：生活部 福祉課】

安心して子育てができる安全な環境づくりを目指して、子育て支援センターを核とした相談、情報提供、広場事業等総合的な子育て支援の推進を図るとともに、子育て経験者によるボランティアの育成などを行います。また、地域における子育て支援のネットワーク化や子育てグループの活動に対しても支援や助成を行います。

放課後児童対策事業（継続）

3,445万6千円

【担当：教育委員会 学校教育課】

原則として、小学校低学年に在籍する児童で、保護者の就労などにより昼間家庭で保育を受けられない児童に対して、町内のすべての小学校で留守家庭児童育成室を開設し、児童の健全育成を図ります。

放課後から午後6時までの開室を基本に、育成室を利用する保護者の申請により、特別延長も実施します。

利用児童数の推移

年 度	児童数（人）
平成19年度実績	116
平成20年度見込	178
平成21年度予算	150

私立保育所の運営負担と事業補助（拡充）

1億1,916万9千円

【担当：生活部 福祉課】

私立保育所「星児園七夕」での保育の実施が円滑に行えるよう、運営費の負担と特別保育事業（一時保育、延長保育促進事業、地域子育て支援拠点事業など）に対する補助を行い、子育て支援の一層の推進に努めます。

また、近年増加しつつある認可保育所待機児童の解消を図る一施策として、本年度から町内の待機児童が入所する認可外保育所に対し運営補助を行います。

各保育所の入所児童数

（単位：人）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
私立保育所 星児園七夕	11 (0)	10 (2)	22 (2)	26 (0)	16 (4)	19 (4)	104 (12)
町立保育所 猪名川保育園	6	12	18	22	24	30	112
計	17 (0)	22 (2)	40 (2)	48 (0)	40 (4)	49 (4)	216 (12)

*（ ）内は町外園児数、（平成21年1月現在）

健康診査・検診事業等（継続）**1億2,721万5千円****【担当：生活部 健康課 健康づくり室】**

平成20年度より医療保険者は、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、被保険者及び被扶養者に対し、糖尿病等の生活習慣病に関する健康診査を実施するとともにその結果により健康の保持に努める必要がある者に対して保健指導を行うことが義務づけられました。これにより引き続き特定健診、特定保健指導を実施し、生活習慣病の予防・改善に努めます。

また、食生活を通じた生活習慣病予防や町民の健康の維持増進、より良い食生活が実現できる環境を育てるため、（仮称）猪名川町食育推進計画の策定に取り組みます。

成人歯科検診については、“生涯自分の歯で食べられること”を目的として、30歳から60歳までの5歳刻みで節目の人を対象に医療機関での歯科検診を実施します。

地域健康づくり組織支援事業（継続）**160万円****【担当：生活部 健康課 健康づくり室】**

住民自らが健康づくりに取り組む意欲の増進を図るため、行政だけでなく専門家による適切かつ正しい健康づくり情報を研修を通じて伝えることにより健康づくり支援員を育成し、同支援員が地域に根ざした実践活動を行うことにより地域ぐるみで健康づくりを進めます。

いながわ健康・医療相談ほっとライン24（新規）**223万9千円****【担当：生活部 健康課 健康づくり室】**

24時間体制で病気やケガなど医療に関する住民の不安や疑問に、医師・看護師・保健士が電話で答える「健康・医療相談」を専門機関に委託して実施します。年中無休、相談料・通話料無料で町民であればどなたでも利用できます。

妊婦健康診査費助成事業（拡充）**1,919万4千円****【担当：生活部 健康課 健康づくり室】**

妊婦が健診費用を心配せずに、必要な回数の妊婦健診を受けられるよう、これまで行ってきた助成額や受診回数を拡充します。

人や文化とふれあいながら、自分らしく生きる

心と体を育む教育文化のまちづくり

- 教育・文化の振興 -

多様な文化や人々、自然などとふれあいながら、生涯にわたって、いつでもどこでも気軽に学び、スポーツに親しむ喜びが感じられるまちづくりを進めるとともに正義感・倫理観・思いやりの心などの豊かな人間性、自ら考え自ら学ぶ力、健康や体力といった「生きる力」を身につけた人づくりに向けて、家庭、学校、地域社会、行政が一体となって取り組みます。

学校LANの整備（小・中学校）（新規）

7,776万3千円

【担当：教育委員会 学校教育課 教育支援室】

授業においてICT(情報コミュニケーション技術)を効果的に活用することによって、基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成及び公務の効率化を目的として、教師用パソコンを整備するとともに各校の普通教室、職員室、パソコン教室と教育委員会をセキュリティーに配慮した上でネットワーク構築する学校LANを構築します。

わくわくスクールプラン推進事業（継続）

306万8千円

【担当：教育委員会 学校教育課 教育支援室】

「確かな学力の向上」「心の教育の充実」及び「たくましい体力づくり」を目指して、中学校区ごとに就学前教育から中学校までの子どもたちや教職員の交流連携を一層促進し、カリキュラムの編成や指導方法の工夫改善に関する研究を中心とした強固な連携と緩やかな一貫性のある教育を推進します。

特別支援教育の推進（継続）

1,083万6千円

【担当：教育委員会 学校教育課 教育支援室】

通常の学級に在籍する発達障害児も含めて、障害のある幼児、児童、生徒への適切な教育的支援を行うため、発達障害相談や幼稚園、小・中学校への巡回相談を実施します。ADHD（注意欠陥多動性障害）等により行動面で課題のある児童が在籍する小学校の通常学級にスクールアシスタントを配置するとともに、兵庫教育大学大学院生による学校支援を行い、学校園における特別支援教育の質の向上を図ります。また、フォーラムを開催するなどして、地域住民の特別支援教育への理解啓発を進めます。

児童生徒安全対策事業（継続）

78万7千円

【担当：教育委員会 学校教育課 教育支援室】

全国的に登下校時に子どもが凶悪事件の被害者となる事件が多数発生しているため、各学校では教職員対象の防犯訓練を実施し、学校安全ボランティアの協力による登下校時の安全確保に努めるとともに、小・中学校の児童生徒全員に防犯ブザーを貸与し、小学校で「CAP講習会(子どもへの暴力防止を考える講習会)」を実施して子ども自身の防犯スキルの向上を図ります。

教育研究所事業（拡充）

1,236万5千円

【担当：教育委員会 学校教育課 教育支援室】

教育研究所で、教職員の指導力の向上に向けた研修の充実を図るとともに、不登校児童生徒の学校復帰を支援するための適応教室「STEPいながわ」と、いじめ問題への対応や保護者の子育てを支援する教育相談事業の一層の充実を図ります。また、不登校対策や問題を抱える児童生徒の自立を支援する拠点として、学校や関係機関と連携してさらなる機能強化に努めます。

私立幼稚園就園奨励事業（継続）

2,320万2千円

【担当：教育委員会 学校教育課】

就学前幼児の幼稚園教育の振興を図るため、3歳児から5歳児までの私立幼稚園に通園する園児を対象に助成します。

助成園児数の推移

年 度	園 児 数 (人)		
	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児
平成19年度実績	98	110	109
平成20年度見込	92	131	114
平成21年度見込	92	92	131

学校図書館への学校図書館司書配置事業（継続）

1,281万円

【担当：教育委員会 学校教育課 教育支援室】

町内全ての小・中学校で図書館教育の専門的な取り組みを推進する中で、全ての小・中学校において司書教諭及び学校図書館司書を引き続き配置(12学級以上は県、12学級未満は町)し、読書指導の充実はもとより、各教科、領域における図書館資料の活用を通して、自ら学び自ら考える学習を支援する学校図書館としての機能充実に努めます。

学習到達度調査事業（継続）

4 2 万 3 千円

【担当：教育委員会 学校教育課 教育支援室】

町内の中学2年生を対象に学習到達度及び生活意識調査を実施し、分析結果をもとに学習及び生活指導上の課題を明確にすることにより、指導方法の工夫改善を図り生徒の学力の向上に努めます。

学校施設整備事業（小・中学校）（継続）

4, 0 0 0 万円

【担当：教育委員会 学校教育課】

児童・生徒の学習環境の充実と改善、安全な施設管理を図るため、学校営繕工事を継続的に実施します。

つつじが丘小学校新增築事業（継続）

2 億 2, 5 0 0 万 6 千円

【担当：教育委員会 学校教育課】

つつじが丘小学校新增築事業として立替施行により整備した施設の買取を行います。

国際交流事業費（拡充）

3 8 0 万 5 千円

【担当：総務部 コミュニティ課】

昨年8月1日にバララット市において開催された姉妹都市提携20周年記念式典を契機として、これまでに培ってきた友好関係をさらに緊密なものとし、多面的な分野にわたる交流を推進します。

また、分散型展示となっている中央公民館内のバララットコーナーと図書館内の展示コーナーをイナホール内に集約・移設し、バララットからの贈呈品等を効果的に紹介します。



「ウェルカムパーティー」&
「国際交流パーティー」

文化財保護の推進（継続）

4 7 8 万 3 千円

【担当：教育委員会 生涯学習課】

文化財の保護・保存のため、引き続き多田銀銅山遺跡の詳細分布調査を進め、国指定史跡に向けた取り組みを進めるとともに、青木間歩などの適切な維持管理に努めます。

学校支援地域本部事業（新規） 242万2千円

【担当：教育委員会 生涯学習課】

地域の教育力を高め、町立幼稚園・小・中学校の教育活動などを地域全体でサポートするため、「猪名川町学校支援地域本部」を設置し、学校支援ボランティアの募集、派遣等を行い、学校と地域との連携体制の構築を進めます。

文化体育館施設整備事業（継続） 3,840万円

【担当：教育委員会 生涯学習課】

平成3年開館以来17年を経過し、経年劣化による老朽化に伴い、壁面及び屋根の補修工事を行います。

学校施設開放事業（拡充） 478万3千円

【担当：教育委員会 生涯学習課】

老朽化等により利用者の安全確保が困難なことから町営プールを閉鎖することに伴い、夏休み期間中、指定する小学校のプールを代替として一般に開放し、住民のさらなる利用促進を図ります。

スポーツセンター管理運営事業（継続） 2,278万7千円

【担当：教育委員会 生涯学習課】

スポーツセンターについては、平成21年度より指定管理者制度を導入することとし、民間活力の導入による効率化を進め、より利用しやすく親しまれる施設運営を行うことで、さらなる住民サービスの向上に努めます。

豊かな自然と共生する、魅力ある都市環境を築くまちづくり

- 都市基盤の整備 -

大都市近郊に残された豊かな自然に配慮し、自然と共生する快適で魅力あるまちづくりを推進するため、ニュータウン開発や新名神自動車道などにより変化する環境に適切に対応し、開発と保全との調和を図りつつ、都市機能の適正配置、生活利便機能の拡充、魅力ある景観形成を図るなど、多様な都市基盤整備の充実に取り組めます。

道路新設改良事業（継続）

1,377万7千円

【担当：建設部 建設課】

道路交通の円滑化、住民生活の安全性の確保、人にやさしい道路づくりを目指して、生活道路などの整備・改良を継続して実施します。

道路拡幅工事

事業費：町道鎌倉1号線道路拡幅事業

工事請負費：1,100万円

公共交通の充実（公共施設循環バス運行事業など）（継続）

2,360万円

【担当：総務部 企画財政課】

公共施設循環バス（ふれあいバス）について、住民ニーズを的確に把握し、随時運行改善に努めます。

また、路線バス、電鉄会社と連携し、全ての住民にとって利用しやすい公共交通の充実に努め、ノンステップバス導入補助を行います。

公園緑地の維持管理（継続）

9,594万8千円

【担当：建設部 都市整備課】

生活文化公園都市をめざし整備された総合公園、地区公園、近隣公園等48公園及び65箇所の緑地の維持管理を行い、生活の中に潤いと安らぎを提供できるように取り組めます。

また、公園遊具による事故を未然に防止するとともに、利用者が安心して利用できるよう、全公園を対象に行った安全点検結果に基づき、危険と認められる遊具等について、計画的に更新または修繕を行います。

質の高い生活を実現する、安全で快適なまちづくり

- 生活環境の充実 -

誰もが安心して暮らすことができる安全で快適なまちづくりに向け、希薄になりつつある住民コミュニティを取り戻し、地域住民の新しいネットワークづくりに取り組むとともに、コミュニティをいかすことによって、豊かな自然環境の保全や防災・防犯・交通安全機能の充実に取り組みます。

コミュニティ推進事業費（継続）

611万5千円

【担当：総務部 コミュニティ課】

小学校区ごとに設置された“地域まちづくり協議会”を核として、地域の特色、特性を活かした住民の参画と協働による安全・安心なまちづくりに向けた地域コミュニティの推進を図るため、その活動に対して補助金を交付します。



「猪名川小学校区
まちづくり協議会設立総会」

塵芥処理事業（継続）

1億3,331万5千円

【担当：生活部 住民生活課】

ごみ収集業務については、平成21年4月より国崎クリーンセンターへの搬入となることから、適正なごみ処理に向けた分別収集を徹底します。また、ごみ収集車1台の更新にあたっては、環境に配慮し低公害車の導入を推進します。

ごみ減量化等対策事業（継続）

3,075万1千円

【担当：生活部 住民生活課】

大型ごみの有料化を実施するとともに再生資源集団回収の奨励や家庭用生ゴミ処理器購入助成などを引き続き行うほか、事業系生ごみの堆肥化によるリサイクルや住民参加、出展によるフリーマーケット等の場の提供を行います。

水環境保全整備事業（継続）**95万円****【担当：総務部 企画財政課】**

清流猪名川を取り戻そう町民運動実行委員会では、これまでの活動を継承しながら、参画と協働のまちづくりの新たな可能性を認識し、県立人と自然の博物館との連携を行い、清流猪名川を取り戻そう町民運動が地域の活動として活性化していくための事業に取り組みます。

また、「清流猪名川を取り戻そう町民運動基本計画」に基づき、引き続き雨水利用を促進する貯留施設（タンク）設置に対する助成を実施するとともに、清流パトロールの実施、清掃用具の地域・グループへの貸し出しによる河川愛護活動の奨励などを実施します。

環境管理システム事業（継続）**71万4千円****【担当：生活部 住民生活課】**

平成14年7月24日に本庁舎等において認証取得した「ISO14001」をさらに継続・発展させながら、より一層環境に配慮した行政運営に取り組みます。

交通安全対策事業（継続）**699万円****【担当：総務部 コミュニティ課】**

交通事故撲滅に向け、警察や交通安全協会、町交通安全推進協議会の協力のもと、街頭啓発の実施や高齢者ドライバー、幼児・児童の交通安全教室を開催し、意識啓発を図る一方、チャイルドシートの購入助成などを引き続き実施し、「交通安全宣言の町」としてふさわしい取り組みを推進します。

防犯対策事業（継続）**2,960万5千円****【担当：総務部 コミュニティ課】**

安全で安心して暮らせるまちづくりに向け、多くの歩行者が通行する路線や新設された路線に防犯灯を計画的に設置します。

また、大人も子どももお互いに「声かけ」や「あいさつ」を励行する「いいなスマイルあいさつ運動」を推進し、地域社会の連帯感を強め、明るく安全で住みよい地域社会づくりを進めます。

防災対策事業（継続）

1,298万1千円

【担当：総務部 総務課】

携帯電話を通じた気象情報（雨量・河川水位・注意報・警報）、避難勧告情報等を発信できるシステム「ひょうご防災ネット」の登録者は1,000人を超えており、引き続き本システムの継続運用を行います。

防災訓練については、より多くの地域住民の方々が参加・体験できるよう、小学校区単位の体験重視型訓練を、白金小学校を会場として引き続き実施します。

防災備蓄品については、保存年限の関係から順次更新していくとともに、白金小学校に新たに防災倉庫を設置し、これにより全小中学校に防災倉庫が備えられることとなります。

自主防災組織育成事業（継続）

167万3千円

【担当：消防本部】

自主防災組織については、引き続き各自主防災組織における訓練の実施を推進するとともに、老朽化が進んでいる消防用ホース格納箱に対する助成を行い、地域の防災力の向上とコミュニティの醸成に努めます。



自主防災組織の初期消火訓練

消防施設整備事業（継続）

799万5千円

【担当：消防本部】

平成19年10月1日より開始された川西市との共同による消防通信指令業務を継続運営し、増大する消防需要に対して迅速かつ広域的に対応するとともに、宝塚市及び川西市との新たな消防通信指令業務の共同運用に向けて取り組んでまいります。

救急活動費（拡充）

310万円

【担当：消防本部】

救命率の向上を図るため、引き続き心肺蘇生法を主とした応急手当の普及活動に取り組みます。また、救急アドバイザー制度を創設し、地域に密着した救急情報を提供するとともに、身近なところで出前講座を開催して救急の知識、応急手当の実施方法などを指導します。

都市近郊の地域資源を活かし、

交流に支えられた産業のまちづくり

- 産業の振興 -

豊かな自然や森林資源を活用し、生産者と消費者との交流、住民の憩いの場の提供、生活利便性の向上などに資する都市と農山村との交流と連携に支えられた付加価値の高い産業の振興を図ります。

新山村振興特別対策事業（継続）

1,047万2千円

【担当：建設部 農林商工課】

野生鳥獣による農作物被害の著しい地域において、総合鳥獣被害防止施設（電気柵）を設置し、農作物被害の防止に努めることにより、農家の営農意欲の向上を図り、遊休農地の解消など農地の適正な維持保全に努めます。

産地形成振興対策事業（継続）

484万6千円

【担当：建設部 農林商工課】

地場産農産物の安定供給に必要な農家への営農・技術指導について、これまでも増してJA兵庫六甲・宝塚農業改良普及センターなどとの連携を図る一方、農産物の周年出荷体制を確立させるため、パイプハウスの設置に対する支援や“そば”の特産ブランド化に向けた取り組みを引き続き進めます。

団塊世代生きがいづくり事業（継続）

295万4千円

【担当：総務部 コミュニティ課】

シニア世代の豊富な知識・経験を地域づくりやまちづくりに活かしながら、各地域でアドプト活動への誘導や、遊休農地・里山の活用などにつなげていくため、講座での農業体験等を通して、新たな後継者の育成に努めます。

また、本町でいつまでも健康で暮らしていけるための講演会や講座も開催し、広くシニア世代への生きがいづくりの支援を行ってまいります。

中山間地域の保全施策（継続）

648万8千円

【担当：建設部 農林商工課】

農地が急傾斜地など一定の生産条件不利地にある地域（柏原・西畑・槻並）に対して、引き続き中山間地域等直接支払制度により農地の保全と活用に努めます。

地域ふるさと森林整備事業（継続）

151万3千円

【担当：建設部 農林商工課】

阿古谷小学校区を対象に近接の森林を環境教育の場や森とのふれあいの場として活用するため、不用木の伐採、遊歩道、管理道などの整備を図ります。

松くい虫防除事業（継続）

242万8千円

【担当：建設部 農林商工課】

松枯れ被害の抑制と山林の景観及び水源涵養機能の保持を目的として、引き続き松くい虫防除事業（立木伐倒など）を北部地域の被害地を対象に実施します。

農地・水・環境保全向上対策事業（継続）

126万6千円

【担当：建設部 農林商工課】

農業従事者の減少、高齢化、耕作放棄地の増大等、農業・農村が危機的状況にあることから、地域ぐるみ又は農業者ぐるみ等多数の人々により地域資源の適切な管理活動を行い、自然環境の保全、良好な景観形成等農地のもつ多面的機能の維持・発揮へつなげる事業を継続実施します。

基盤整備促進事業（継続）

737万円

【担当：建設部 農林商工課】

生産性の高い都市近郊型農業を推進するため、平成15年度から実施している笹尾地区ほ場整備工事及び換地処分が完了したことから、その清算事務を実施します。

大野山管理運営事業（拡充）

2,747万7千円

【担当：建設部 農林商工課】

大野アルプスランドについては、指定管理者（柏原生産森林組合）や天文台運営委員会と連携し、あじさいまつりや星まつり、観望会などのイベント開催にあわせ、本年が望遠鏡による宇宙観測から400年を記念する世界天文年であることから、本町では毎月1回メシエ天体を観望するメシエマラソンを実施するなど、さらなる集客に努めます。

さらに、大野アルプスランド内の施設について利用者の利便性の向上を目指し、トイレ及び天文台出入口の改修工事を実施します。



大野アルプスランド「あじさいまつり」

自然歩道管理事業（継続）**307万8千円****【担当：建設部 農林商工課】**

身近な自然や多田銀銅山跡などの歴史とふれあえる近畿自然歩道を安全に通行できるよう管理するとともに、万善・銀山・下阿古谷の公衆トイレを含めた適切な維持管理に努めます。

消費者対策事業（継続）**257万4千円****【担当：建設部 農林商工課】**

消費者トラブルを未然に防ぐため、トラブル事例や消費生活に関連する消費生活講座と高齢者などを対象とした出前講座を引き続き開催するとともに、複雑化、高度化する消費者トラブルなどの対応として、引き続き週3回の相談業務を実施します。また、近年の悪質商法の事例や対処法を掲載したパンフレットの作成や近年急増している多重債務問題への対応強化として、これまで以上に弁護士会、司法書士会と連携を密にし、相談内容の充実を図ります。

観光高揚事業（拡充）**474万4千円****【担当：建設部 農林商工課】**

本町の歴史・文化・自然を内外に広く啓発するための施設「多田銀銅山悠久の館」と歴史街道「散策路」を基点として活動している観光ボランティアガイドのさらなる充実を図るべく活動を進めます。

また、4月から6月までの3ヵ月間には、兵庫県とJRのタイアップによる大型観光キャンペーンが行われ、本町においては銀山地域がまち歩きコースとして認定されたことから、定時ガイドを実施するなど、さらなる誘客活動に向け取り組みます。

まちづくりの実現に向けて

行政情報の公開を進めるとともに、住民の意向を行政に反映し、住民参加を促進していきます。また、計画的、総合的かつ効率的な行財政運営に取り組むとともに、単一の行政区域を超えた行政課題に対応するためにも、広域行政や近隣市町などとの連携と協調のもと、広域的に開かれたまちづくりに取り組みます。

企画事務費（継続）

747万8千円

【担当：総務部 企画財政課】

本町の望ましい将来像の実現に向けた、今後10年間の目指すべきまちづくりの指針となる第5次猪名川町総合計画(平成22年～31年)を住民の参画と協働のもと策定します。



総合計画審議会

町税の休日収納・相談窓口の開設（新規）

11万7千円

【担当：生活部 税務課】

平日、仕事などの都合により、金融機関・役場窓口などに出向いて納税・相談することが困難な人にその機会拡大を図るため、隔月の最終日曜日を基本として、日生公民館において税の収納及び納税相談のための窓口を開設します。

情報基盤整備事業（新規）

1億2,600万円

【担当：総務部 企画財政課】

平成20年度に策定した「猪名川町情報化計画」に基づき、本町域におけるブロードバンド環境の地域間格差の是正と平成23年7月に予定されている地上デジタル放送への全面移行に向けた受信環境整備を目的として、現在、光ファイバによるブロードバンドサービス等を享受できない地域における光ファイバ施設を促進するため、民間電気通信事業者に対して整備費用の一部を補助します。

地籍調査事業（継続）

1,526万5千円

【担当：建設部 都市整備課】

正確な土地の測量を実施することにより、土地の正しい位置、形、地番及び地積を明らかにし、個人の土地取引から公的機関による事業の円滑な推進など総合的な土地政策を推進する基礎データを作成するために地籍調査を実施しており、平成21年度は南田原地区に引き続き、新たに笹尾地区の地籍調査を実施します。

ホームページ運営管理システム構築（拡充）

167万円

【担当：総務部 総務課】

行政における広報活動は、町ホームページの担う役割が年々大きくなっており、「だれもがアクセスしやすい・使いやすいホームページ」であることが重要となっています。

このため、町ホームページの利用者にとって、より魅力があり、満足のいくホームページにするため、ホームページ運営管理支援システム（CMS）の導入を行い、誰もが快適に利用でき、これまで以上に使いやすく分かりやすいホームページづくりに取り組みます。